



Weekly Report

第2240回例会 2018年10月17日 国際ロータリー第2580地区

東京武蔵村山RC
第47代クラブ会長
倉内 淳

2018~19年度RI会長 バリー・ラシン 第2580地区ガバナー 松坂 順一 (東京葛飾東RC)

東京武蔵村山RC テーマ

『親睦・研修・実践』 基本に立ち返り、素晴らしいロータリーライフを！

本日の例会

I・M 打合せ

2018~19年度RIテーマ



次回の例会

デエダラまつり
10/27(土)・10/28(日)

【第2239回例会週報】2018年10月10日(水)

司会 佐藤 貢 会場運営副委員長

点鐘 倉内 淳 会長

会務報告 倉内 淳 会長

斉唱

奉仕の理想
ソングリーダー
金井 一三 会員



- 第34回“若手の会”開催のご案内
 - ・日時：10/25(木) 19時より
 - ・場所：ルピアホールあきる野ルピア3F
 - ・会費：会員10,000円 ゲスト7,000円
 - ・〆切：10/17

○「武蔵村山市商工会50周年記念式典」のご案内が届いております。

来客紹介

幹事報告 比留間 一義 幹事

○卓話講師 崔 恩瑛 さん (米山奨学生)

○なし

出席報告

委員会報告

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
34名	20名	80.65%	84.38%→87.50%

○情報委員会 (波多野 晃夫 委員長)

- ・第13回村山デエダラまつりについて
 - 日程 10月27日(土)～28日(日)
 - 会場 真如苑プロジェクト用地27番ブース
 - 所管 情報委員会と社会奉仕委員会
 - 活動 ロータリー活動のパネル展示とチューリップの球根の配布によりロータリークラブの活動をPRする
 - 集合 初日は情報委員会・社会奉仕委員会のメンバーは8:30分までに集合
その他の方は9:30分までに集合
* 2日目は全員9:30分までに集合

- 事前メーキャップ
 - 藤野 豊 会員 (秋川RC)
 - 比留間 孝司 会員 (宜野湾RC)
 - 酒寄 好夫 会員 (分区ゴルフ)
 - 嶋田 哲男 会員 (//)
 - 前川 優大 会員 (//)

○メーキャップ (第2237回例会)
阿久津圭吾 会員 (親睦ゴルフ)

- 出席免除会員
 - 波多野 穂 会員 比留間市郎 会員
 - 原田 友義 会員

例会振替となりますので少なくとも1日は出席頂ける様お願いします。





米山奨学生 崔恩瑛 さん

私は中国生まれの韓国人です。現在の中華人民共和国吉林省東部の延辺朝鮮族自治州一帯の中心都市の「延吉」という町で生まれました。ここは、ロシア、北朝鮮、中国の国境線が向き合っている地域で、これからもし北朝鮮が開放された時には、アジアとヨーロッパをつなぐ貿易の中心地として多くの学者たちが注目している地域です。

もともとこの地域は、満州族の清朝が祖先の土地として封禁し、他の民族が入れないようにしましたが、16世紀後半あたりの飢饉などで環境が悪い時期に徐々に朝鮮農民が入植するようになりました。17世紀に入ると後金の勢力が強まり、中国大陸を制覇するために朝鮮を治める必要があり1627年の丁卯胡乱、1636年の丙子胡乱で朝鮮を侵攻しました。後金は16世紀までは朝鮮との関係を重視しており、豊臣秀吉文禄・慶長の役の時には民よりも早く朝鮮に兵士を支援したいとの書信を送ったとの記録があります。

私は、この1636年の丙子胡乱の捕虜に関する問題、人身売買に関する問題を研究しています。当時後金軍の捕虜となった人数は、朝鮮の全人口の10%に当たる50～60万人といわれ、捕虜の返還は明が滅んだ1644年まで続きました。

後金（清）が数十万に至る朝鮮捕虜を必要とした理由は、①不足していた労働力を補完するため、②功ある将卒に人間と牛馬を与える風習があり、その施賞用としての人間充当、③朝鮮捕虜を貿易用財産として認識していたため逃亡人の刷還を行ったとの説がありますが、私は清が特に朝鮮捕虜に執着する理由は①朝鮮の技術者に関する関心、②南草（タバコ）の入手と日本への関心であると思っています。

①の技術者に関する関心ですが、当時後金は移動しながら生活する遊牧民族が大多数で、土地に安着して物を生産・栽培する技術が乏しい状況でした。

「承政日記」、「藩陽状啓」には、製鉄技術を持つ鉄匠を指名して送還するよう要求したが、朝鮮が応じなかったため朝鮮に恨みを持つようになった。死罪を犯した朝鮮捕虜の中に御營砲手（大砲をつくる人）がいたが死罪を許した。清全体で餓死者が続出する中、昭顯世子（王）がいる藩陽館では米などの穀物が使い残り、高額で清に売買していたなどの記録が記されています。

②の南草の入手と日本への関心ですが、捕虜が物と交換で返還される事も多かったですが、国内に南草が少なく清の貴族にとって南草は貴重品であった事から、南草での交換を優先するよう要求していました。また、南草の入手は、日本から明と朝鮮に入るルートしかなかったため、明や朝鮮よりも高額で購入するしかありませんでした。そのため、捕虜との交換物として安易に入手できるよう、捕虜の確保に執着したと考えられます。

以上にて、私の研究内容の紹介とさせていただきます。資料の最後に参考資料や文献を記載しています。ありがとうございました。



ニコニコBOX (宮崎 正巳 親睦委員)

- * 倉内淳会長・比留間一義幹事⇒米山奨学生の崔恩瑛さん、今日は卓話宜しくお願ひします。
- * 田中伸彦会員⇒妻の誕生日を祝って頂きありがとうございます。
- * 宮崎恒夫会員⇒ゴルフではいろいろお世話になりました。結婚月もお知らせ頂きありがとうございます。
- * 波多野晃夫会員⇒結婚記念日に、素敵なお花をいただきありがとうございました。お陰様で46回目の記念日を迎えることができました。

◆ 今回計 18,000円 累計 390,000円